

市議会

だより



2017年8月1日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会
広報編集 広報編集
特別委員会



仙北市議会6月定例会
予算常任委員会
—一般質問
総務文教常任委員会

P2

P3

P4～11
P12

市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会
いきいき広場・桜プロジェクト
全国議会議長会表彰
控室・編集後記

P13

P14

P15

P16

■ひのきないこども園
夏まつり予行(7/20)



— 6月定例会 —

第2回定例会が6月2日～23日までの22日間の会期で開催され、平成29年度一般会計補正予算案など15件が審議された。

初日に市長の繰越明許費の報告（4件）専決処分等の承認について（5件）市消費生活センターの設置に関する条例制定について、平成29年度一般会計補正予算案等が上程され、専決処分5件については初日に承認された。

議会最終日に工事請負契約の締結について、議員提出議案の市議会議員の定数を改正する条例案（2件）などが提出され、市議会議員の定数を19人から16人に改正する条例案は否決、それ以外の議案は全て可決された。

一般会計補正額 **1億6,069万円** 補正後予算**190億1,539万円**に

承認・可決採択された議案・請願（予算関係は除く）

- ◇専決処分の承認について（仙北市国民健康保険条例一部を改正する条例）
- ◇専決処分の承認について（仙北市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）
- ◇仙北市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について

- ◇工事請負契約の締結について（ごみ処理施設）
- ◇意見書の提出について（地方財政の充実・強化を求める意見書）
- ◇武蔵野下5町内地区（一部）の側溝設置と舗装に関する請願書

議決結果/議員賛否 平成29年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:6/2 最終日:6/23)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退場 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	党及び会派に属しない議員																					
				蒼生会	共産党	公明党	安藤武	黒沢龍己	平岡裕子	熊谷一夫	佐藤大成	高橋豪	門脇民夫	田口寿宜	大石温基	阿部則比古	小田嶋忠	荒木田俊一	小林幸悦	伊藤邦彦	真崎寿浩	八柳良太郎	高久昭二	稲田修	
議案第2号	専決処分の承認について（仙北市市税条例の一部を改正する条例）	6/2	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	退
議案第5号	専決処分の承認について（平成28年度仙北市一般会計補正予算（第9号））	6/2	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	退
議案第6号	専決処分の承認について（平成29年度仙北市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号））	6/2	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	退
議案第8号	平成29年度仙北市一般会計補正予算（第1号）	6/23	可決	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	
議員提出議案第4号	仙北市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について（定数を16人への改正案）	6/23	否決	反	反	反	反	反	反	欠	反	賛	反	反	賛	反	賛	反	反	賛	反	反	反	反	
議員提出議案第5号	仙北市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について（定数を18人への改正案）	6/23	可決	賛	賛	賛	賛	反	欠	賛	反	反	反	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
議員提出議案第6号	意見書の提出について（教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書）	6/23	可決	賛	賛	賛	賛	反	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

予算常任委員会

補正予算1億6,069万円を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から付託を受け6月14日に付託議案審査、21日に各分科会審査報告、同報告に対する質疑、22日に討論・採決が行われた。

主な内容	事業費	金額	事業費	金額
総合給食センター調査検討	事業費	2,160万円	温泉休養施設管理運営費	1,110万円
西木地区企業誘致用地に総合給食センターを建設するための調査検討事業費			クリオンプール屋上防水シート改修工事費	
生活衛生総務費		228万円	グリーンツーリズム推進事業費	151万円
中川高屋・寺沢地区の地下水水質検査費			農家民宿・グリーンツーリズム団体で組織する「農山村体験推進協議会」が事業所及びホームページ開設費	
観光施設整備事業費		400万円	国際観光宣伝・誘客事業費	297万円
ユネスコ無形文化遺産に登録された「角館のやま行事」とミシュランガイドへ掲載の5地区に看板を設置する費用			田沢湖マラソンと高雄国際マラソンのスポーツツーリズム促進による相互交流事業費	

たのではないか。

無駄なことをせずに継続事業とした方が安くできるのではないか。

○温泉休養施設管理運営費

質問 クリオンプール屋上防水シートの漏水によりシート交換との事だが「実施設計・工事とも改めて入札をするより昨年度改修設計をした設計業者が最も良く状況を把握していたのではないか。

質問 建設にあたり経費削減、合理化等の観点から欠けている。配送も直営委託どちらがベストなのか、ルート選定にしても疑問が残る。

○総合給食センター調査検討事業費

質問 計画ではまだ先の話だが水道管が寺沢まで来ており、また西木地区の水道もあるので、そうした部分を含めて検討する。

格者も増やしていきたい。

○グリーンツーリズム推進事業費

質問 旅行業の資格を取れるに当たり、どの様に規制が緩和されるのか、それによって農家民宿が増えると想定しているのか。

○生活衛生総務費

質問 当該予算は中川の高屋・寺沢地区の地下水の水質検査費の様だが、今後の整備計画については。

答弁 入札契約室と検討させて頂きたい。

賛成討論

○本予算案には、庁舎整備費として角館庁舎、総合給食センター建設事業費の基本設計費用が含まれる重要な予算案である。庁舎整備については当該予定地内にある健康管理センターの存続と、市民の利便性を考慮して農林部を西木庁舎に継続配置した基本設計となるよう要望して賛成する。

○角館庁舎建設については「事業部門を角館庁舎に集約したい」とする当局案に対し、市民の中には「農林部門は西木庁舎に」と願う声がある。また学校給食センターには更なる地場食材の活用を、との強い声がある。予算の執行にあたり市民の思いを汲み取り、堅実に推進される事を期待して賛成する。

2名の委員から次に要約される討論がありました。



小田嶋忠 議員

慢性的な職員不足解消への考えは

市長

業務の効率化を基本に
適正な職員数を維持する事が重要と思う

景観重視の取り組みを

質問 天然記念物シダレザクラの指定木が欠損している。

その原因と処理については、文化財保護法に基づいてなされたものか。伝建群周辺の景観保護を重要視した取り組みをお願いする。

答弁 平成21年5月頃、指定木の花が咲いていない状態の為、根元から切除した。原因は除草剤の散布等が疑われると聞いている。その都度、文化財保護法に沿って手続きをしている。

質問 指定木隣接地の相続人から当該土地を購入して欲しいと、市に申し入れがあったと聞く。その結果と理由を伺う。

答弁 場所は樺細工伝承館から鈴木内川堤に続く一角で、購入後の利用目的をはっきりさせることが第一であると話し、市では購入できない状況と説明した。市が提示した賃貸借契約の条件が折り合わず、他者への転売となった。

地域活性化と地域課題解決の関連は

質問 ドローンによる地域活性化をどのように図っていく

か。地域の課題解決との関連をどのように考えるか。また、市民へのメリットは何なのか。

答弁 地域課題解決と活性化を同時に進めていきたい。ドローンが市民の課題解決の道具となり、身近な技術として活用できるように進める。技術者の育成と民間事業者との連携、市内企業とのマッチングを進めていく。

慢性的職員不足解消への考えは

質問 市の一般行政職員数は、合併時の四分の三以下になっている。早期退職者が多く、公約実現のための新規業務も増えて、慢性的な人員不足に陥っている。人員不足の解消、時間外勤務の縮減に対する考えを聞きたい。

答弁 職員一人当たりの業務量が増加していることは認識している。これ以上の減少は、市民サービスの低下につながりかねないという危機感を持っている。事務事業の見直し、業務の効率化を基本に適正な職員数を維持する事が重要と思う。

公共施設指定管理が
価格重視ではないか

質問 公共施設指定管理の業者選定に当たり、価格競争の様相を呈し、そこに働く労働者の雇用条件について評価を行っているか。併せて指定管理料の具体的な算定方法はどうなるか。また、公共サービス提供のために公契約条例が必要と考えるがどうか。

答弁 指定管理候補者選定委員会、事前に設定した項目で審査している。職員体制、採用・確保の方策が適切かを評価しており、低価格であればよいという判断基準ではない。適切な委託料の設定に努めたい。

公契約条例の制定は、ワーキンググループを設置し、調査研究を行いたい。

(熊谷一夫記)



■景観保護重要視の伝建群に

物産館建設で観光と1次産業の振興を図れ



阿部 則比古 議員

市長 ご指摘は私の思いそのものだ

道の駅建設を急げ

質問 本市の更なる観光振興と地場産業振興の起爆剤として今こそ物産館（道の駅）の建設が必要だ。当地の物産のウイークポイントは果樹や他の園芸関係の少なさだ。道の駅の営業に向けてこうした分野の開拓が必須だ。農地の集約化によって発生した農業経験豊かな高齢者の余剰労働力を県果樹試験場や先進地の協力を得ながらもう一度喜びをもって働いて貰うべきだ。

答弁 ご指摘の思いはそのまま私の思いだ。8年前に設立させて頂いた総合産業研究所は土壌調査から、果物葉物他これまで無かった生産物の基礎研究をしている。現在は、漢方の原料に力を入れている。園芸作物の販売状況はいいだけ約1億3、



■賑わう道の駅庄内

800万円、花卉は1億1、400万円、アスパラ2、500万円、そらまめ2、200万円、いちご800万円、ネギは5、300万円と着実に増えている。ぶどうも8農家で66・49アール、ブルーベリーやラズベリーの生産も始まっている。農業再生協議会等で様々な品目の応援をしている。補助事業等のメニューを作って応援させて頂いている現状にある。

桧木内地区に林業公社の設立を

質問 ウイスキーやワイン熟成用の樽材である北欧産オーク材（樽の一種）が枯渇しつつあり、代替材の水榿等も世界的に少なくなり、良材の入手が難しくなってきた。本市には大量の榿が有る。良質部はフローリング材や樽材に他は薪、チップ、パレットに無駄なく使用できる、パイロット事業として桧木内地区に林業公社を設立出来ないか。前述の樽

は相当に高価なようだ。樽職人を招聘し、旧上桧木内小学校校舎を利用してウイスキー樽を生産したら、新たな産業振興と地元榿林の持ち主の収入にもなり一石三鳥にも四鳥にもなると思うがどうか。



■本市には大量の榿が有る

たアイデアと思う。本市に相当量の蓄積があると思うが、これまで製材用や合板用、チップ用が殆どだったが、通告で提案いただいて、すでに大手ウイスキーメーカーとやり取りをしている。先方も大変興味を示している現状があるし、今後榿の集積量等、調査の手順を踏みたいと考えている。

（平岡 裕子 記）



八柳良太郎 議員

伝承館を音楽活動の拠点として活用出来ないか

市長 多目的に活用できるように審議する

伝承館に簡易な音楽機器の設置を

質問 榊細工伝承館は総合研究室、研修室、喫茶室を備えており祈願祭、講演会、研究発表会、各種大会等入館者は10万人程である。

音楽関係者から館内移動出来る簡易な音楽機器の設置を望む声が多い。榊細工伝承館という施設ではあるが、ジャズコンサート、合唱団の定期演奏、ライブコンサート、ピアノ演奏会等も開催されている。最近では戊辰戦争の縁で大村市との姉妹都市交流の際、大村市出身の歌手「カツルミ」さんが、施設を利用された。

プロの方からセミプロの方までの要望が次の通りである。

- ① 上げ下げに大変難儀をしている。ピアノのバックヤードが出来ないか。
 - ② 簡便な備え付けのPAセットが欲しい。左右のスピーカー、ワイヤレスを含んだマイク3本、返しのスピーカー。
 - ③ 簡易な照明がほしい。
- 答弁** ワイヤレスマイク4本、ミキサーアンプ、ポータブルステレオスピーカーと最



■プロアマ仕様の簡易PAセット

低限の物は対応してきた。空調設備改修も含めこれまでに幅広く多目的に活用できるようにバックヤードのことも伝承館審議会で審議をいただくと。

さくら開花の温暖化対策を急げ

質問 今年の2月バンコクでのタイ最大の見本市に日本各地の自治体、観光協会など70団体が参加。仙北市も「タイで角館のさくらをPR」と報じられた。

① 海外に売り込もうとしている桜を温暖化対策を取らず

にこのままにしているのか。遅咲きの桜をどうするのか。

- ② 古城山の桜や登山道をどうするのか。
- ③ ウソ対策をどうとるのか。
- ④ 夜桜見物の復活と駐車場の一部無料化について
- ⑤ テングス病対策について

答弁 ① 遅咲き桜の選定と植栽は効果的と考える。市内に植栽を進め誘客につなげた。既に活動は始まっている。

- ② 山は憩いの場として整備された経緯あり。山から見た角館の四季折々の景色を次世代に見せることが目標。
- ③ ウソの桜木内堤での定期



■ウソの食害が目立つ古城山

駆除によりきれいな桜を見ることが出来た。

- ④ 5日の『祭り反省会』で桜並木駐車場の夜間無料開放や屋根のある飲食可能施設の復活等の意見交換があり、岩瀬北野線沿い桜並木のライトアップ、大型ビニールハウスや棧敷席設置の検討を進める。
- ⑤ テングス病対策は現在病気の枝を切るしかない。提案の研究機関への問い合わせはしてゆきたい。

(阿部則比古記)

旧小学校等の公共施設の利活用策は

高久昭二 議員



市長 利活用策について衆知を集め検討していく

田沢湖郷土史料館の利活用と展示品の取り扱いは

質問 貴重な文化財、文化遺産を次世代に継承、発展する為のクニマス未来館オープンに伴い、田沢湖郷土史料館展示品、合計307点及び黒倉遺跡群の保存、管理、公開はどうするのか。また、史料館の利活用策は

答弁（教育長） クニマスに関連した資料については、クニマス未来館へ、わら細工、民具等は思い出の潟分校へ、黒倉遺跡、湯前遺跡展示品は、JR田沢湖駅の田沢湖情報センターフォレイク2階に展示する方向で検討している。

質問 田沢湖郷土史料館の利活用の可能性がないとすれば解体も一つの方策と思う。フォレイク2階はアイリスと国土交通省関連の展示物でいっぱいとなっているが、利用について関係部署と打ち合わせをしているのか。

答弁（副市長） 現在関係部署と協議中であるが、各部署とも市の方針に理解を示している。

旧小学校の活用による

る郷土資料等の一般公開を

質問 田沢湖、角館、西木地区郷土資料、古文書、公文書の管理、公開について、大仙市アーカイブスを例に、市内旧小学校を活用し、佐竹北家資料を含め一般公開出来ないか。

答弁（教育長） 佐竹北家日記は学習史料館、他資料等は伝承館で企画展示、公開している。今後一括管理公開を大仙市アーカイブスを参考に前向きに検討したい。

旧市立角館総合病院跡地の利活用策は

質問 市の財政硬直下で、旧角館総合病院解体費用をどう



■ 田沢湖郷土史料館の展示品はどこへ



■ 病院跡地の活用等は

捻出するのか。

特に夜間はゴーストタウン状態になり、今後利活用、地域活性化含めどう対応するか。

答弁 旧市立角館総合病院の解体、利活用については早急に検討する。現在、病院財産（企業財産）であるが、今後利活用を検討する上で、市有財産に移管し、庁舎内に横断的組織を立ち上げ、年度内に結論を出す方向で作業を進める。

質問 統合庁舎建設のため、旧管理棟活用案を採用すれば、合併特例債で解体出来たが、約2億円以上の解体費用や跡地利用をどうするか重要な課題である。病院跡地を老朽化

著しい岩瀬市営住宅用地として一部活用する。向かい駐車場跡地に小規模企業誘致用地とし、特に大館市の医療原材料や紙オムツ製造工場のような誘致が出来ないか。

答弁 合併特例債の活用は新市計画で盛り込まれた事業で上限一杯で、それ以外の事業には活用することはできない。過疎債の活用を検討し、一部を一般財源の適用として、病院解体費用の捻出を検討したい。

跡地についても、さまざまな活用の一つとして企業誘致で雇用の増大を図るといふことも当然議論しなければならぬ。

（門脇民夫記）

仙北市はり・きゅう・マッサージ施術費助成制度の見直しを



日本共産党 平岡 裕子 議員

市長 市民の経済的負担を軽減できるように作業を進める



■施術費助成のエリアの拡大を

治療費の負担軽減を

質問 リンパ節のマッサージに、秋田市まで通っておられる方がいる。仙北市の施術費助成制度は、施術所が市内、大仙市、美郷町と限られているが、地域の拡大はできないか。

答弁 治療に要する市民の経費負担の軽減は、大変重要な施策である。市民が通院・通所しやすい交通等の利便性に配慮して、近距離にある施術所を指定し、この制度の運用に当たっている。現段階で範囲の拡大は困難ではないかと考えている。

質問 制度では、一回の施術

費助成が800円、交付枚数は年6枚となっているが、額の見直しはできないものか。

答弁 近隣の自治体では、大仙市は一回800円で年12枚、美郷町は一回1,000円で12枚となっている。このばらつきは、十分に検討する意義がある。30年度の見直しに向けて作業を進めたい。

児童生徒の健康増進と親の経済負担軽減を

質問 健康診断の結果、子どもの栄養状態、視力、歯、口腔の状態はどうか。結果の対応はどうか。

答弁 (教育長) 栄養状態は、貧血検査と肥満度等により把握している。28年度結果で、貧血は全体で47人、うち受診者は68%。肥満度20%以上は253人、痩せすぎは34人。視力は、420人に受診を奨めていて、うち受診者は50%。歯列、咬合については220人に受診を奨め、治療、矯正は、うち34%となっている。

質問 結果からして、医療機関の受診者が低いように思うが、要因は何か。

答弁 (教育長) 受診のための、時間の確保が難しい。家庭の認識の違いによることもある。矯正治療は非常に高額になるので大きな理由と捉えている。

質問 学校での歯科検診により、歯科医から受診を勧められ、結果が保険適用外の矯正となり、高額で応じられない現実がある。助成について検討課題と捉えるが、市長の所見を伺う。

答弁 自分が知る限りでは、どこも対応ができていないと思っている。歯の健康は大変重要である。現状では、客観的にみても基準作りが非常に難しい実態があることを理解していただきたい。

農業者と消費者の交流、農業振興を図るために

質問 先に、農業委員会から提出された建議書の「道に、地産地消対策として「道の駅」の早期実現を要望する」とある。回答は、設置に向けて様々な課題解決をしなければならぬ。誰が直売施設の運営に当たるのか懸念してい



■充実した販路の拡大を

る内容であった。市民の期待の多い事業の実現に向かって、今年度、9万円が予算措置されている。準備室の立ち上げなど積極的な施策はないのか。

答弁 この事案については慎重に当たらなければと思っている。道の駅自体は国交省から応援いただくことができるが、付随する直売所は、行政、農家の方々、商工業者の方々が一致団結した思いがなければ前に進むことはできない。事前的な取り組みが今年からできている。

(八柳良太郎記)

水田の小規模基盤整備事業の可能性はあるか。

黒沢龍己 議員



市長 規制緩和により受益面積が10ha以上が可能である

水田の大規模基盤整備率は

質問 市の水田面積4,834haの中で、大規模基盤整備がされている水田は何%か。

答弁 水田面積4,834haの中で、整備を実施するべき目標面積が4,040haで、平成28年度末で2,690haが整備されており、整備率が66・5%である。

質問 今後の大規模基盤整備の計画について伺う。

答弁 現在の計画は、生保内南地区109ha、神代地区285ha、西木鎌足・八津地区17ha、中川地区119haであり、整備済みの面積と合すると3,220haとなり整備率は約80%となる予定である。

水田の小規模基盤整備事業の可能性はあるか。

質問 中山間地域は大規模基盤整備事業の採択要件である、1団地20ha以上をまとめて確保することが困難なので緩和措置はないか。

答弁 本市は過疎法指定



■大規模基盤整備が進む生保内南地区

地域になっており、当該地域では1団地10ha以上の小規模基盤整備事業が可能となり、採択要件が緩和されている。

農業の担い手育成の取り組みを

質問 若い人が就農しないのは、農業で生活できないからで、魅力があつて生活ができるのであれば、担い手となる若い人がどんどん就農する。魅力ある農業で担い手育成の取り組みを図るべきではないか。

答弁 さまざまな制度の導入で担い手育成に努めている。例えば、農業経営力向上支援事業、農業法人確保育成事業等法人化の支援を行っている。青年就農者に対しては、年間150万円の就農給付金や夫婦で就農する方には年間225万円、最大5年間給付される制度もある。これまでに5名と3組の皆さんが交付金を受けて就農している。

新市立角館総合病院前の市道に安全対策を

質問 新市立角館総合病院の患者さんが調剤薬局からの薬をもらうために、市道岩瀬・北野線を横断している。

今後、横町からの道路の開通により車の交通量が増加して危険となる。横断歩道の標示や標識等の安全対策の計画をしているのか。



■交通量が多い、新市立角館総合病院前の市道岩瀬・北野線

答弁 新市立角館総合病院前市道の安全対策については、病院開設前に仙北警察署と横断歩道の設置について協議、現地立ち会いを行っている。設置にあたっては、歩行者、横断者の利用状況等の調査が実施された後で秋田県公安委員会へ報告され、公安委員会が判断する手順になっている。

(伊藤邦彦記)



高橋 豪 議員

若者向け住宅建築支援制度は不備が多い

市長 速やかに改めます

若者向け住宅建築支援制度をより使いやすいものに

質問 昨年度から開始した若者の住宅新築助成制度の成果をどう分析しているのか。

答弁 新築の件数は平成27年度が28件、平成28年度が42件で、制度開始前と比較し14件増加している。制度による経済効果は3億7,868万円、市内事業者においては2億1,650万円と大きな成果があったと分析する。

質問 大きな成果を上げてはいるが、最近、予算がないとの理由で申請を断られる、または制度の欠点により対象者であっても利用できないケースも出てきた。さらには周知不足により制度を知らないまま

ま建築中の方もいるため、これらを改善し、早急に対応するべきではないか。

答弁 制度スタート時において具体的ケースを想定できていなかった。要綱では年度内に工事を完了させなければならぬが、3月着工の方などはそれに間に合わず制度を利用できない場合もあった。こうした事例も含め、要綱の不備を早急に改めたい。また、予算も十分に確保し対応したい。周知については広報やホームページを通じ、また、市内業者等へは直接行っているが、不利益のないように再度徹底する。

第2子以降の保育料無料制度について

質問 昨年度から第2子以降の保育料無料化を実施しているが、所得制限の在り方を問う。

答弁 所得制限により、第2子以降のいる家庭の5%が無料ではない。人口減少対策は喫緊の課題であり、所得の違いによる不公平感はなくしたい。県と協議中ではあるが、来年度から所得制限を行わない方向で進めたい。

待機児童対策と保育士不足への対応はどうか

質問 待機児童をださないために継続して取り組みを進めるべきである。保育士不足やその待遇改善、また、今後の保育所運営について伺う。

答弁 6月1日現在の待機児童数はゼロである。民間ボランティアの協力や家庭的保育事業所も開設して頂いているが、今後もバックアップを進めたい。保育士不足への対応として、臨時職員の賃金や休暇制などの改善も進めている。現在は市内2園が社会福祉法人「はなさき仙北」による法人運営に移行しているが、他の園については今年度中に方針を明らかにしたい。

子供の遊び場公園整備や遊具の設置を

質問 子供を安心して遊ばせることのできる公園整備や遊具設置については以前から議論しているが、昨年は角館駅東公園にコンビネーション遊具が設置され大変好評であった。こうした声をどう分析し今後に生かすのか。また、今年度は生保内公園の遊具の修繕等も予算化されているが、

既存遊具の修繕や更新の考え方を伺う。また、西木地区はそうした場所が不足しているように見受けられるが今後の対応を伺う。

答弁 公園利用の実数については把握できていないが、今後は公園利用者の声を計画づくりに反映させるため、利用者からの聞き取りやアンケート調査を行いたい。既存の遊具は3年に1回点検をしているが、修繕が必要なものは今年度と来年度で対応する。今後も計画的に更新や修繕を実施する。西木地区では湯前山森林公園や旭山公園に遊具が設置されているが、その他についても検討中である。

質問 広い敷地に大型の遊具が設置されている施設を利用するため、わざわざ他市町村へ出かける方々も多い。こうした需要にどう応えるのか。

答弁 大規模なコンビネーション遊具が欲しいという声はよく聞いている。遊具設置、既存遊具の更新、修繕は今後も取り組んで行くが、同時に屋内でも遊具設置ができる環境づくりを進めたい。

(佐藤大成記)



■若者の住宅新築促進で定住を図れ(現在市内に新築中の住宅)

病院事業の一時借入金は問題だ



安藤 武 議員

市長 危機的状況を改善したい

病院経営に何が必要か

質問 病院経営の生き残りのために何が必要か。新病院の経営形態は、どこをどう変えたのか。

答弁 病床数を47削減し、MRI、CT、血管造影撮影装置などを新たに導入し、最新医療機器を駆使して診断、治療を行っている。特に血管造影撮影装置は、脳疾患など血管内治療に威力を発揮し、ほかの病院からドクターヘリで搬送された事例もある。

質問 財務分析の基本である貸借対照表、損益計算書から見た分析で平成28年度は、どのように取り組まれたのか。

答弁 田沢湖病院は経営安定のため一般会計から基準外繰入を一億円入れた。角館総合病院は赤字の見込みである。その要因は、医師の退職であったり、診療報酬改定により病棟機能の変更、新病院移転に伴う入院患者の抑制等、複数の要因が重なり合って収益減少した。

質問 全国で一時借入金が一億円以上発生している自治



■新たに導入された血管造影撮影装置

体が公表されている。当市では8億円以上の借入金が発生しているのは問題ではないか。

答弁 一時借入金は、一時的な現金不足を補うために発行される起債、借金であり恒常的な借入金とは全く性質が異なるものである。しかし、危険水域に達していることは間違いない。だから今、本当に危機的状況を改善するための処方箋を打っている。

市長の2期目を振り返つての心境は

質問 職員からの提案、住民からの声など効果的な行政運営ができたのか。

答弁 政治は結果がすべてとよく言われるが結果が出たもの、出ないものさまざまあった。行政サービスの維持、向上と新たなサービスの提供ということに努めてきたと言う自負心はもっている。

質問 地域活性化の取り組みは十分だったのか。

答弁 幾つかの成果はあったが、私が理想とする地域活性化は、地域の活動が行政の枠を超える大きなうねりとなり、やがて行政をも飲み込む活動になることである。

質問 市長選の日程も決まり、市長は三選を目指すのか。

答弁 一言で言えば、その判断の要素は、次の四年間私のキャラクターが仙北市にとって有益か、否かである。瀬戸際の中で自分の考えをめぐらしている状況であるので熟慮の時間をもう少しいただきたい。

(大石温基記)



■地域活性化に取り組む岡崎地区の皆さん

総務文教常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容	地域おこし協力隊事業費	363万円	職員の募集・採用経費
	伝建群保存地区保存整備事業費	100万円	武家屋敷の壁の修繕料
	角館のお祭り保存会補助金	50万円	ユネスコ登録の掲示看板の作成費
	総合給食センター調査検討事業費	2160万円	基本設計・地質調査費

ここが知りたい 議論のポイント

平成29年度予算 主な質疑

質問 現在までに4人の地域おこし協力隊員が仙北市で勤務している。近未来実証特区やドローン事業に従事する職員を募集するという説明だが、何を重視して募集・採用をするのか

答弁 市内にはドローン技術に精通した方が少ないので、指導が出来る、起業につながるような職員を募集・採用したい。

質問 伝建群で起きた事故後の対応はどうなっているのか。

答弁 警察から逃走中に伝建群の壁に追突している。運転者は、生活困窮者であり、修繕料に関しては、すぐには払えないが、必ず弁済したいという話を聞いている。市としては、今後当然返済を求めていくが、事故の対応として、秋の観光シーズンを控えている観点から、市が早期に修繕を行うことが必要であり、予算を計上した。

質問 角館のお祭り保存会補助金の内訳は。

答弁 角館の曳山行事がユネスコの登録になったことを受けて、各曳山に設置する統一した看板を作成する経費である。曳山の前方に設置をお

願いしている。

質問 給食の配送は直営で行うのか。また、給食の配送のルート数は。

答弁 新しい総合給食センターが出来た後も業務委託で行うことを考えている。配送は6ルートで検討している。

質問 新しい総合給食センターを建設出来るというのに、経費削減・合理化等の観点が欠けているように感じる。例えば、以前に比べて給食の保温設備等は大幅に進歩している。

他市の例を上げれば、以前よりも配送ルート数は少なく、配送時間は長くなっているのが実情である。配送の直営が望ましいのかやルート数の検討が本当になされているのか疑問だ。

答弁 生徒達に温かい給食を届けるという観点から、現在考えられるベストの配送方法を提示している。議員の指摘も踏まえて今後検討したい。



■総合給食センター建設予定地
(西木工業団地)

総務文教常任委員会現地視察

生保内・田沢 財産区を視察

財産区は、資産を活用して、まちづくりや公共施設の運営等を行っている。視察では、生保内区の造成林と仙北市温泉引湯管布設敷地・旧高原スキー場跡地・田沢湖郷土史料館を見学した。

特に、スキー場跡地は現在、ドローンの実証実験地に指定されている。



■温泉引湯管布設状況



■生保内北部分収林組合造林地

用語解説

・財産区…市町村や区域内で財産や公の施設を所持している場合に、その財産や施設の管理や処分に、法人格を持っているもの。

市民福祉常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容

温泉休養施設管理運営費

1,110万円

クリオンプル屋根・天井の水漏れ発生に伴う改修費用

主な質疑

質問 クリオンプルの屋上の水漏れはいつ頃分かったのか。また、工事請負費 954 万 8,000 円が基準になると思うが、一般競争入札で行うのか。

答弁 今年の3月末、業者から水漏れの連絡があった。入札は、一般競争入札になるが、議決後に実施設計という形で進める事になっている。

質問 実施設計は議決後に設計業者を指名して進める事になるのか。

答弁 実施設計については、指名競争入札で進めたい。また、工事請負については、一般競争入札で進めたい。

質問 クリオンプルの大規模改修設計業者が、一番状況を把握しているので同じ業者で良いのではないか。

答弁 指摘のとおりという事もある。その部分も含め、入札契約室と検討させていただきたい。



■屋上防水シートの劣化により雨水が漏水するクリオン

質問 消費生活センターについて

答弁 188をダイヤルし、その後、音声ガイダンスに従って通話すると、国の消費生活

センターの資格が得られる。
「財団法人日本消費者協会」が付与する消費生活センターの資格」の3つがある。資格については、学歴、経験を問わず、いずれかの試験に合格すれば相談員の資格が得られる。

質問 消費生活相談員になるための資格について

答弁 相談員の資格は、「独立行政法人国民生活センター」が付与する消費生活専門相談員の資格、「財団法人日本産業協会」が付与する消費生活アドバイザーの資格、「財団法人日本消費者協会」が付与する消費生活センターの資格」の3つがある。

ここが知りたい
議論のポイント



■消費生活センターが設置される消費生活係（43-3308）

係につながる。また、市にも独立した外線があり、（43-3308）新たな専用電話の設置は考えていない。分かりやすい周知方法を検討したい。
☆万が一に備え、相談員を現在の1名から最低でも2名に増員するよう要望しての賛成討論があった。

産業建設常任委員会

平成29年度仙北市水道事業会計補正予算

主な内容	グリーンツーリズム推進事業費	151万円
	農家民宿・グリーンツーリズム団体で組織する農山村体験推進協議会が旅行業の資格を取得し、旅行業の事業所を開設する費用。	
	秋田発・子どもふるさと交流推進事業費補助金	79万円
	クニマス未来館関連の新規事業。市内の小学生と山梨県西湖近隣の小学生との交流にかかる経費。	
	観光施設整備事業費	400万円
	角館駅、田沢湖駅、武家屋敷、乳頭温泉、抱返りなどに看板を設置する費用。	
国際観光宣伝・誘客事業費	297万円	
田沢湖マラソンと高雄国際マラソンのスポーツツーリズム促進による相互交流事業に関する費用。		
角館祭りのやま行事公開展示事業費	300万円	
外町交流広場に、旧中央通りの曳山を8月から11月にかけて展示する費用。		

水道未普及地域解消事業に伴い、雲然・田中、八割地区において、国費の内示額が148.6%と大幅に増額になった。来年度に完了予定である。

質問 水道の建設改良費の増額により、どの程度増えるのか。
答弁 当初2,539mとしていたが、3,923mとなり、1,384mの延伸となる。
質問 事前に実施するアンケート調査結果に伴う、具体的な判断基準と水道整備を断念した有無について伺う。
答弁 給水対象者が5年以内に入する意思があるのか、又は加入予定があるのか調査する。1年以内の加入についても調査するが、加入率だけで判断はしない。地下水の状況なども判断材料としている。岡崎、院内地区に十数件存在するが、将来的に加入予定者が少なく、説明会を開催し内諾を得たうえで打ち切ったこともある。
質問 飲み水に困っている人への対応について伺う。
答弁 中川の高野地区で井戸水が飲料水として利用できない苦情などもあり、保健課で全域にわたって水質検査を実施する。

平成29年度予算 主な質疑

ここが知りたい
議論のポイント

請願を採択

請願第4号

武蔵野下5町内地内（一部）の側溝設置と舗装に関する請願

願意

道路沿いに側溝がなく降水時の雨水は道路の斜面を降り、道路沿いの一部の家屋や畑地に流れ込む状況にある。また、柳沢町内へ抜ける道路に未舗装部分があり車両・歩行者の通行に難渋している。



■側溝が必要な生保内斎場へ向かう道路



～いきいき広場～ 子育て支援で 少子化解消へ

小野昭晴(30歳)・ 夫妻
真生(31歳)

西木町上桧木内字堀内 206

家族構成 9人家族

祖母(88歳) 父(63歳) 母(57歳)
長男 晴斗(8歳) 次男 唯真(6歳)
長女 里桜(4歳) 三男 冬真(2歳)

子育てをする上で一番 大変なことは

子育てをしている皆さんが感じていることと思いますが、子ども中心の時間となり、両親からの支援もいたたいませんが、自分の時間を持ってないことです。

必要な子育て支援は

小・中学校の給食費の支援や高校通学費用の補助があれば助かります。

国・県に子育て支援策 として求めるものは

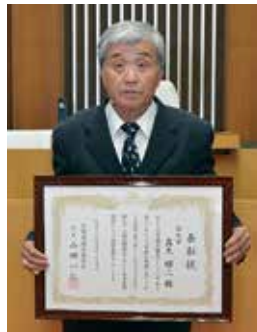
3人目からの児童手当の増額と3人以上子どもがいる家庭へは、育英会の奨学資金を無利子で貸付け等の進学に對しての優遇的支援をしていただければ3人以上の世帯が増えると思います。

全国議会議長会 表彰

稲田修議員と高久昭二議員が通算20年以上、青柳議長は通算15年以上(ともに旧町村時代を含む)市政振興に寄与された功績を称えて全国市議会議長会より表彰されました。また、青柳宗五郎議員は同会より感謝状を受賞しました。



■青柳議長 15年表彰
感謝状受賞



■高久昭二議員
20年表彰



■稲田修議員
20年表彰

議会の「桜プロジェクト」 第2弾

市議会観光振興議員連盟(会長、青柳議長)は「桜プロジェクト」第2弾として、7月1日田沢湖畔にオープンしたクニマス未来館南側に桜の植樹を行った。桜によるまちづくりで市内全域の観光振興を目指す議員連盟の「桜プロジェクト」の一環である。植樹は未来館オープンで来られた後藤山梨県知事・佐竹秋田県知事等のご来賓の方々も協力し、遅咲きで淡いピンクの花が特徴の紅山桜(大山桜)の苗を植えた。今後も市内全域で住民と打ち合わせをした上で、植樹を行う方針である。



■植樹した紅山桜

控室

議員定数削減へ

先の議員全員協議会時に、議長の私的諮問機関である議会改革推進協議会の答申が、「議員定数削減」との方針なら、その「削減数を示して、改革する意思を示すべきでないか」という議員の意見を受けて、推進協議会では再度の協議を重ねた。

議会改革推進協議会からの出された、削減の理由や背景を要約すると、

①人口の減少に伴い市税や地方交付税の段階的な減少により、組織や各公共施設の統合を図り、効率的な行政運営が求められている。

②県内の市議会の議員定数の動向も、削減の方向で推移している

③本市では、合併以降、特に人口の減少が激しく、市職員も大幅に削減されているなか、議会についても、例外ではない。

議員定数を1名〜3名削減すべき、削減数は議員全員協議会で協議すべきとの報告がされた。

全員協議会では1名減と3名減という2案が大勢を占め、この調整のために、さらに2回の協議を重ねた結果

①議員定数の削減は、より広い地域をカバーすることに、大幅な削減により、地域の住民の意見を反映でき難くなることは避

けるべきである。

②効率的な行政効率を求めるあまり、住民の声が集約でき難くなることは、住民自治の根幹を揺るがすものである。

③議員のなり手不足が深刻化しているなか、次期改選まで1年を切っている現時点では、急激に大幅な削減をすべきでない。

削減数は1人とすべきとの意見に集約され、議長に答申することに決定した。

なお、議論の過程では、次の意見もあった。「本市では、財政の健全化のために、職員の定員適正化計画による削減目標15.9%を掲げ、全体の職員数の減少による人件費の抑制を図っている。」

議会もこの目標値15.9%を準用し、定数を3人削減するべきである。

その結果として生じる節減効果を、広く住民へ還元するための政策に充て、あるいは、基金を創設するなどして、今後避けられない建物などの維持管理経費に備えることこそが、将来の市民負担を減らすことにつながり、議会としての責務ではないか。」という意見もあったことを申し添える。

今後の議員定数のあり方については、さらに十分な議論をつくすべきである。

(伊藤 邦彦 記)

編集後記

田沢湖畔に7月1日オープンした、クニマス未来館の内覧会には多くの市民が訪れ約70年ぶりに里帰りし、水槽の中で元気に泳ぐクニマスの姿を見て思わず「お帰るなさい」と声を掛けている方もいた。

の中坊名誉教授。発見された後、西湖でのヒメマス釣りの規制やクニマスの養殖に、そして里帰りに尽力していただいた山梨県等色々な方々からの力添えがあつて里帰りが実現し、クニマス未来館のオープンへとつながった。

生態がまだ不明な部分も多いため孵化や養殖後の生存率が6.9%と低く、養殖技術が確立し仙北市での養殖までには年月を要すること。未来館を維持管理していく上では

電源開発と食糧増産のため安住の地を追われ、山梨県西湖で命をつなぎ、奇跡的に生き延びていたクニマスには神秘的な生命力を感じる。玉川の強酸性の水が導入されクニマスの死滅を恐れ各地の湖に発眼卵を送った秋田県と桂湖(田沢湖)漁業組合。各地の湖に生き延びていないか探し求めて歩いた三浦久兵衛さん。クニマスを発見した魚類学者サカナクン。田沢湖だけにしか生息していなかったクニマスに興味を示し研究したことが発見につながり、養殖等の指導を頂いた京都大学

来館者数の確保が重要で環境保護等で世界に発信していかなければならないこと。田沢湖の酸性水等多くの課題がある。未来館オープンが田沢湖再生への一里塚として、一步を踏み出さなければ前には進まない。田沢湖を再生し、魚類の生息する湖に環境を回復させることが私達に課せられた責務である。

(門脇 民夫 記)